

随 筆

樹齢350年以上のクスノキが5本伐採されてしまいました

加藤 克彦

樹齢350年以上（推定）のクスノキが5本（2本はもう少し若いかもしれませんが）伐採されてしまいました。2016年11月23日前後の出来事です。場所は名古屋市東区榑木町1丁目10番地です（私の実家の北西斜め前）。子供の頃の私の遊び場だったところです。その頃は法務省などの役所関係の建物がありました。横長の木造2階建ての学校のような建物でした。昔の裁判所で現在の市政資料館を小さくして木造にしたような建物でした。あるいは、東京都文京区駒込にあるアイソトープ協会の建物のような感じでした。建物の中央部には玄関があり、その前に車寄せがありました。この車寄せはついこの間まで、つまり2016年11月頃までは、土に埋もれて形跡が残っていました。この玄関の中に入ると木造の大きな階段がありました。その奥には東西に延びる大きな廊下が1階、2階ともにありました。中に入って遊んでいても注意された記憶はありません。その建物の周りに大きな木が何本もありました。

その後、記憶が正しければ昭和40年代前半（1969年にはもう古い建物はなかったと記憶している）にこの土地に国家公務員合同宿舎榑木住宅1号棟、2号棟が建てられました。2棟立ての間には舗装された道路があり、近所の子供たちの恰好の遊び場でした。舗装されていたのでローラースケートを皆でやったことを良く覚えています。この国家公務員合同宿舎榑木住宅1号棟、2号棟の北側には、主税町（ちからまち）公園がり、ここも恰好の遊び場でした。この公園は現在も昭和40年代前半に作られた当時のままほぼ原型をとどめています（木が大きく成長しましたが）。国家公務員合同宿舎が作られたときにたくさんあった木のうち何本かは伐採されましたが、大きなクスノキが5本敷地内に残っていました。そのうち4本は国家公務員合同宿舎榑木住宅1号棟南側にありました。枝が張ってくると日当たりが悪くなるせいか、もしくは南側の榑木町筋の道路に枝が張り出すかで、いつも枝は落とされていました。奥の国家公務員合同宿舎榑木住宅1号棟と2号棟の間になった1本も木に登れないようにするためか枝を落とされていました。枝を落とされた大きな幹がニョキッと立っていました。

このあたりは江戸時代には中級下級武士の屋敷があった場所でした。榎木町、主税町、白壁町と現在も地名が残っています。昭和40年代、50年代の町名変更の時に地域住民の強い希望により町名が残されました（その周りの歴史的な町名はほとんどが白壁、泉などに統一されてしまいました）。クスノキはたぶん武士の屋敷の庭にあったのでしょうか。クスノキは上記の5本のさらに東に行ったところにもう一本あり、これらのクスノキは地域のシンボルのような存在でした。

最初に伐採の危機が訪れたのは昭和40年代の前半のことです。現在国道41号線の真ん中に立っているクスノキでした（樹齢推定350年以上）（上記の伐採された5本とは別の木。100mほど東）。国道41号線の拡張工事に伴い、私の実家の北東斜め前の家の庭にあったクスノキが伐採されることになったのです。地域の住民は猛反対しました。その結果当時の名古屋市長が視察に来て「立派な木だ。残しましょう。」と鶴の一声で残されることになりました。国道41号線の、東片端と清水口の間で北行き3車線のうち1車線がクスノキの左側（西側）、2車線が右側（東側）を走行しているのはそのためです。

2度目の伐採の危機は高速道路の建設計画が持ち上がったときでした。そのときも地域住民は反対の声を上げました。そのときもこの大クスノキは伐採を免れました。名古屋高速の東片端ジャンクションから北の部分の上下線が上下に重なり、しかも高さが高いところにあるのはそのためです。最初に伐採の危機に遭遇したこのクスノキは残され、今も国道41号線の真ん中ですくすくと枝を伸ばしています。山吹小学校、富士中学校、明和高校に通った私は毎日この木を見て生活していましたが、その頃の記憶よりさらに大きくなった気がします（小学校時から半世紀もたっているのもそれでしょうか）。

そのクスノキから、西側に榎木町筋を少し入ったところのほぼ同じ並びに5本のクスノキ（1本は少し北側）が立っていました。この5本のクスノキは国が所有する敷地内にあったので、誰もが伐採されずに残るものと思っていました。ところがこの国家公務員合同宿舎榎木住宅1号棟、2号棟が閉鎖され、土地が売りに出されたのです。4,067平方メートル、23億4千万円であると立て札には記載されていました。建物付きで23億4千万円ではどうすることも出来ません。どうなるのかなと思っていたところ、2016年11月23日前後に突然何の予告もなく一瞬のうちに5本のクスノキは伐採されてしまいました。2016年11月25日からは北米放射線学会（RSNA）に出席するためシカゴに行ったのですが、RSNA 出発前の11月20日頃に実家に行ったときはこのクスノキたちはまだ悠然と立っていました。しかし、RSNA から帰ってきたときには跡形もなく伐

採されていました。

今現在2017年7月は、建物はきれいに撤去され更地になっています。立て札には15階建てのマンションが出来る旨が記載されています。4,067平方メートルの土地に出来る15階建ての巨大マンションにはたぶん多くの住人が移り住んでくることでしょう。しかし樹齢350年以上（推定）のクスノキが5本も伐採された土地だと言うことはたぶん知らされることはないでしょう。建物は何十年かすると立て直すことは出来ます。しかし350年以上かけて大きくなった樹木を元通りにするには350年以上かかります。ショックで暗い気分の日々が続きます。

樹齢350年以上（推定）のクスノキが5本（2本はもう少し若いかもしれませんが）伐採されてしまいました。

（名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻医用量子科学講座）

